

## 令和元年度(平成31年度) 山科区運営の総括表

基本方針・重点方針	令和元年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
1 環境を守り継ぐ	1 山科区2万人まち美化作戦の実施	参加者数目標：2万人	実施日：令和元年6月2日 参加者数：15,177人 回収ゴミ量：18.59t		地域力推進室
	2 笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施	国道1号(五条通)の歩道上に設置した1,000個のプランターの花を区民総出で春と秋に植え替える。	国道1号線(五条通), 新十条通の歩道上及び学区内施設にプランターを設置した。 春夏：500個 秋冬：1,000個		地域力推進室
	3 山科区フラワーロード推進事業の実施	花苗植数目標：6,000株	花苗植数：3,348株		地域力推進室
	4 「エコ学区」ステップアップ事業	「京エコライフプログラム(地域性を活かした学区独自のエコ活動を支援する公募型事業)」「省エネナビ(電気消費量計測機器)の貸出」など地域の担い手セミナーへの全学区参加を支援する。	エコ学区支援物品(リユース食器, 環境紙芝居舞台付きセット等)を貸出した。 貸出団体：4団体		地域力推進室 (環境政策局)
2 まちの魅力・観光を磨く	1 天皇陛下御即位記念「山科区版非公開文化財等の特別公開」	秋季の紅葉シーズンの一斉公開を目指す。	安祥寺, 勤修寺, 随心院, 毘沙門堂, 本願寺の5寺院の非公開文化財を一斉に特別公開した。 期間：令和元年11月16日～12月1日(16日間) 拝観者数：延べ約6万人(昨年同期比約8割増加)		地域力推進室
	2 山科区公式アプリ「やましなプラス」の運用	ダウンロード数：16,000件	山科区公式アプリ「やましなプラス」を通じて, 区役所, 公共施設等の情報を発信した。 ダウンロード数：10,585件 (令和2年3月31日現在) ニュース掲載記事数：482件(1.3件/日) (平成31年4月1日～令和2年3月31日)		地域力推進室
	3 山科検定の実施	受験申込者数：500名	山科の歴史, 文化, 産業等への理解を深め, 区民の皆様への愛着を一層醸成するとともに, 区外の皆様に対して山科の魅力を広げるため, 「第4回山科検定」を実施した。 開催日：令和元年12月1日 受験者数：308人		地域力推進室
	4 ふれあい「やましな」区民ふれあい文化祭の開催	文化祭の実施による区民の相互交流を促進する。	開催日：令和2年2月23日 区民ギャラリー 入場者数：延べ約1,250人 出展作品：187点 区民芸能フェア 入場者数：延べ約1,350人 出演者数：530人		地域力推進室
	5 ファムトリップ(旅行商品企画担当向け視察旅行)の実施	近畿, 中部, 中国地方からのバスツアー誘致を目指す。	「京都山科非公開文化財等の特別公開」の開催にあたり, 鉄道事業者や旅行会社, メディア関係者を5寺院へ招待し, 山科区への誘客への協力を得た。 訪問社数：8社		地域力推進室
	6 やましな観光振興・賑わい創出	山科の観光資源・地域資源をPRするため, 効果的な広報を実施する。	紅葉の美しい時期に山科への誘客を図るため, 「京都山科非公開文化財等の特別公開」の特製パンフレットを作成し, 配布・配架した。 パンフレット印刷部数：50,000部		地域力推進室
	7 京焼・清水焼の魅力発信プロモーション	清水焼の郷まつりにおける大幅な増客を行うとともに, 京焼・清水焼の販路の拡大に努める。	「清水の郷まつり」の会場に向き, 山科区の観光案内を行うキャラバン隊活動を実施した。 開催日：令和元年10月18日 パンフレット配布部数：800部		地域力推進室
	8 区民史跡の探訪(山科の魅力探訪)への支援	各団体独自に工夫を凝らした史跡巡りの探訪により, 山科の魅力を広げる。	区民史跡の探訪等事業登録団体：5団体		地域力推進室
	9 「大好き!やましな魅力発信プラットフォーム」の運営	京都橋大学と区役所との共同運営により, 新規参加者及び情報発信件数の拡大を図る。	区民が自由に情報を発信し, 交換しあう場として, メーリングリストを使用してプラットフォームを運営した。 参加者数：110人 情報発信累計件数：659件 (令和2年3月31日現在)		地域力推進室
	10 笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施	【再掲】	国道1号線(五条通), 新十条通の歩道上及び学区内施設にプランターを設置した。 春夏：500個 秋冬：1,000個		地域力推進室
	11 義士親善友好都市交流会議(忠臣蔵サミット)の開催	山科区の魅力を全国に発信することや, 多くの区民が参加し『忠臣蔵』をテーマとしたまちづくりの取組を共有することで, 地域の活性化に寄与する。	東部文化会館で交流会議・記念式典を開催, 区内ゆかりの地を視察した。 開催日：令和元年10月25日～26日 参加都市：14自治体 交流会議入場者数：500人		地域力推進室
3 交通・都市基盤を強化する	1 山科区の交通問題の改善に向けた取組	・バス待ち環境の改善。 ・鏡山循環系統バス及び山科循環バス(くるり山科)の利便性向上。 ・モビリティ・マネジメントの拡大による地域の公共交通の利便性向上。	鏡山小学校で鏡山循環バスについての授業を鏡山学区自治連合会と共に行った。 国土交通省「令和元年交通関係環境保全優良事業者等表彰」を鏡山学区自治連合会と山科区役所が受賞した。		地域力推進室 都市計画局 交通局
	2 小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進	バスの本格導入に向けて, 小金塚自治連合会及び関係機関と連携しながら取組を進める。	小金塚循環バスの時刻表を小金塚地域に全戸配布を行った。 また, 地域内に利用啓発のぼり旗を設置した。		地域力推進室 (建設局)
	3 不良な生活環境を解消するための取組	関係機関や地域と連携して実態調査を進めるとともに, 要支援者が抱える課題や悩みを聴取し, 要支援者に寄り添った支援を行う。	実態調査を行い, 要支援者に対して継続的な支援を実施した。 ごみ屋敷と判定：28件 ごみ屋敷ではないと判定：17件 解消：24件 (平成26年11月条例施行後累計)		地域力推進室 健康長寿推進課 障害保健福祉課 生活福祉課 (保健福祉局) (消防局)

4 保健・福祉・子育て支援を充実させる	1	やましなお誕生おめでとう事業の実施	民生児童委員等を通じて子育て家庭と地域の子育て支援機関又は子育て家庭同士がつながりを持つよう、事業周知の工夫や民生児童委員等との連携に努める。	全13学区で実施した。 訪問件数：315件（区内年間出生数の37.4%）		子どもはぐくみ室
	2	やましな子育て情報発信事業の実施	情報誌の内容を充実させたうえ、様々な機会をとらえ、孤立しがちな未就園児を持つ家庭を中心に配布する。	やましなっこおめでとうガイドの内容充実・情報更新を行った。 やましなお誕生おめでとう事業における訪問時のほか、他都市からの転入者や乳幼児健診時での窓口配布を行った。		子どもはぐくみ室
	3	要保護要支援児童対策の機能強化と山科区要保護児童対策地域協議会の充実	児童虐待認定を受けた児童について、虐待重症度等に応じて子どもはぐくみ室も主担当機関として支援方針の検討や定期的な状況把握を行い、適切な支援を行う。山科区要保護児童対策地域協議会の実務者会議においては、新たに教育委員会が参画し、市立小中学校との連携や調整機能の強化を図るとともに、関係者間の情報共有により連携して児童虐待、再発及び重症化の防止へ向けた支援を行う。	代表者会議 開催回数：1回 実務者会議 開催回数：4回 個別ケース検討会議 開催回数：75回		子どもはぐくみ室
	4	やましな子育て支援連絡会の充実	代表者会議を年1回以上開催し、幹事会を中心に研修や事例検討会等を実施する。	代表者会議 開催回数：1回 幹事会 開催回数：2回 研修会 「発達課題のある子どもへの支援～事例検討～」をテーマに実施した。 開催回数：1回 参加者数：22人		子どもはぐくみ室
	5	子育て支援基幹ステーションの活動の支援	基幹ステーション会議を年1回以上開催し、地域の子育て支援状況を把握し、基幹ステーションの活動を支援する。	基幹ステーション会議について令和2年2月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議は中止し、書面での情報交換を行った。		子どもはぐくみ室
	6	妊娠前から切れ目のない子育て支援の推進	乳幼児の健やかな育成等を図るため、乳幼児健康診査の受診率向上の取組や訪問相談及び各種子育て支援事業を連携して実施する。	妊婦相談 相談件数：966件 乳幼児健康診査 ・4か月児健診 実施回数：36回 受診者数：848人 受診率：97.6% ・8か月児健診 実施回数：36回 受診者数：871人 受診率：98.5% ・1歳6か月児健診 実施回数：36回 受診者数874人 受診率：97.9% ・3歳児健診 実施回数：36回 受診者数：943人 受診率：95.6% プレパパママ教室 実施回数：15回 参加者数：195人 親子の健康づくり講座 実施回数：17回 参加者数：103組 親子すこやか発達教室 実施回数：9回 参加者数：14組 思春期健康教育、防煙セミナー 実施回数：8回 参加者数：799人 訪問指導等 実施件数：1,497件		子どもはぐくみ室
	7	子育てに関する総合的な相談支援窓口「子育て支援コンシェルジュ」の推進	子どもはぐくみ室の全ての職員が「子育て支援コンシェルジュ」として総合的な窓口業務を推進する。	受付時の簡易チェックシートの作成や事務フローの見直しを行い、誰もが分かりやすく遺漏のない事務処理を行えるよう工夫した。		子どもはぐくみ室
	8	乳幼児の教育・保育に関する相談支援窓口と利用者調整の実施	地域で幼児教育・保育を必要とする方を適切に幼稚園・保育所等の利用につなげる。	保育施設等の受入状況を適宜把握し、利用申込者の相談を丁寧に聞き取り、幼稚園の情報を含め情報提供を行うとともに適正な利用調整を行った。 また、幼児教育・保育の無償化の事務を的確に行った。		子どもはぐくみ室
	9	「子どもはぐくみ情報コーナー」や山科区公式アプリ「やましなプラス」を通じた子育て情報の発信・提供	子育て家庭に子どもや子育てに係る情報をより幅広く発信・提供する。	地域の子育て支援機関のチラシ等を1箇所にとまとめわかりやすく配置した。 また、「やましなプラス」にはタイムリーな情報を適宜掲載した。		地域力推進室 子どもはぐくみ室
	10	山科区子育て応援フェアの開催	地域の子育て支援団体の連携の輪を広げ、地域の子育て文化の更なる醸成を図る。 参加者数目標：1,000人	開催日：令和元年9月21日 場所：京都市東部文化会館 主催：山科区保育園まつり&山科区子育て応援フェア実行委員会 参加者数：1,270人		子どもはぐくみ室
	11	子ども向け文化・芸術体験事業の実施	区内の小・中学生の伝統文化・芸術文化に対する理解と興味・関心を高める。	山科区伝統文化（能楽）体験 山科区在住の観世流能楽師の協力を得て、区内の小学6年生を対象に、能楽を本物の能楽堂で体験する機会を提供した。 開催日：令和元年10月23日 場所：京都観世会館 参加校数：9校 参加者数：596人（小学6年生・引率教員等） こども音楽体験ワークショップ 令和2年2月24日の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。		地域力推進室 子どもはぐくみ室
	12	やましな熱中症ゼロ大作戦プロジェクト	熱中症予防について正しい知識を持つことにより一人ひとりが予防に努め、人口当たりの熱中症搬送件数が全行政区中最小にすることを目指す。	実施期間：令和元年6月1日～8月31日 山科消防署、区医師会、地域団体、関係機関、民間企業等の協力を得てやましな熱中症ゼロ大作戦連絡会を開催し、熱中症予防の注意喚起の取組や啓発イベントを実施した。 6月30日「安心・安全やましな笑顔と“きずな”パレード2019」における啓発と、JR山科駅周辺での啓発チラシ等の配布を実施した。 山科消防署の協力により、地域団体や事業所、区内中学校における健康教室を実施した。 開催回数：10回 クールスポットの設置協力依頼を行った。 民生委員等の協力により、見守り訪問において、地域の高齢者に対し、熱中症予防啓発に関するチラシ等を配布した。 区役所ホームページ、市民しんぶん山科版、「やましなプラス」に熱中症予防について掲載した。		地域力推進室 健康長寿推進課
	13	山科区健康寿命延伸プロジェクト	やましな新聞屋さん見守りネットワーク事業の実施 区内の新聞販売所や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、一人暮らしの高齢者等の突然の体調悪化や事故等の異変を速やかに察知し対応する。 “心”の健康寿命延伸体験事業の実施 いつまでも健康に暮らしていただくことを目指し、外出する機会の少ない中高年の方を対象に、地域の文化に親しむとともに、認知症予防に効果的とされる「読み、書き」や「手作業」に取り組み、集中力・想像力を高めることで脳の活性化を図る。	通報件数：9件 （内訳：入院や外泊5件、新聞の取り忘れ1件、死亡2件、その他1件） 山科区新聞販売所現地会に出席し、事業の報告や意見交換を行った。 開催日：令和元年9月18日 ～京の匠から学ぶ～金箔押し体験 金箔押し体験を通してオリジナル模様のタンブラーの作成、認知症予防ミニ講話を実施した。 1回目 開催日：令和元年10月3日 参加者数：17人 2回目 開催日：令和元年10月10日 参加者数：18人 ※定員は両日とも20人 心の静かに写経・写仏体験 令和2年3月11日、3月16日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。		健康長寿推進課 健康長寿推進課
	14	山科区フリースペースの設置・運営	地域福祉推進委員会の活動を通じて、事業の安定した運営や内容の充実を図り、地域社会の絆づくりに努める。	山科区フリースペースの設置・運営 設置期間：通年 設置場所：区内9学区13カ所 利用者数：4,057人 フリースペースの活用方法を知ってもらうため、区内の高齢者等に「ふりすべ知ってほろ？」（平成29年度作成）を配布した。		健康長寿推進課
	15	健康づくりサポーター「キャット・ハンズ」によるウォーキングの実施	山科区民を対象としたウォーキングを年2回実施する。	1回目 山科・追分コース（ラクト山科公園～一燈園～摂取院～旧東海道～閑栖寺～ラクト山科公園 約6キロ） 開催日：令和元年10月30日 参加者数：42人（健康づくりサポーターは51人参加） 2回目 大石神社コース（山科区役所～大石神社～岩屋寺～山科神社～勤修寺公園～山科区役所 約5キロ） 開催日：令和2年2月28日 参加者数：22人（健康づくりサポーターは45人参加）		健康長寿推進課

4 保健・福祉・子育て支援を充実させる	16	地域における健康づくり事業の実施	<p>「山科健康づくりだより」を年3回発行し、情報発信をするほか、やまなし健康フェスタや地域団体などと連携した健康教室を開催することにより、機会を捉えた各健診の案内や健康づくりを推進する。また、ロコモ予防や口腔機能低下予防の体操（山科わっはっは体操）、糖尿病発症予防など、フレイル・オーラルフレイル予防の普及啓発に努める。 *目標：各種がん検診の受診率の向上（全市受診率の平均を上回る）</p>	<p>やまなし健康フェスタ ふれあい“やまなし”区民まつりと同時に開催し、関係団体14機関、健康に関する啓発等を実施した。 開催日：令和元年11月23日</p> <p>山科健康づくりだよりの発行 健康に関する知識の普及や健康イベントの情報、がん検診受診啓発に活用した結果、各種がん検診受診率は、すべての検診において平成30年度と比較し、1～1.4%増加した。 健康づくりだより発行回数：3回</p> <p>歯と口の健康教室 開催回数：16回 参加者数：延べ423人</p> <p>山科わっはっは体操 更なる普及を図るため、CDを作成した。</p> <p>歯のひろば がん検診受診や禁煙予防に関する啓発活動を行った。 開催日：令和元年11月2日 主催：山科歯科医師会</p> <p>ロコモ予防体操 地域でのイベントや健康づくりサポーターによる普及啓発を行った。 健康教室の開催回数：3回 参加者数：延べ286人 健康づくりサポーターによる活動：月1～2回実施 参加者数：延べ606人</p> <p>骨粗しょう症予防 地域におけるイベント等で骨密度測定と保健指導を行った。 開催回数：5回 参加者数：延べ301人</p>		健康長寿推進課
	17	介護保険事業の適正かつ円滑な実施	窓口等での丁寧な説明に努めるとともに、保険料の徴収率の向上と適正な要介護認定・保険給付に努める。	窓口等で介護保険制度の丁寧で的確な説明を実施、また保険料滞納者に対する滞納処分の実施などにより、徴収率対策本部会議で設定した現年度目標普通徴収率を+0.20ポイント上回る87.68%を達成した。		健康長寿推進課
	18	地域福祉推進委員会活動の充実	各会議等に積極的に参加する中で、山科区社会福祉協議会と協働し、地域福祉の向上を目指す。	本委員会 開催回数：3回 事務局会議（適宜開催） 山科区の地域福祉を考える集い 開催回数：1回		健康長寿推進課
	19	地域包括支援センター(高齢サポート)の活動の支援	地域包括支援センターが主催する日常生活圏域レベルの「地域ケア会議」に出席し、必要な助言等を行う。また、「山科区地域包括支援センター運営協議会」を年3回開催し、地域課題の解決に向けて、「認知症高齢者声かけ訓練」等の事業の実施を提案する。	地域ケア会議（日常生活圏域レベル）への出席 出席回数：8回 地域包括支援センター運営協議会の開催 開催回数：2回 *全3回の開催を予定していたが、第3回については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。 認知症高齢者声かけ訓練 各高齢サポートが中心となり、地域の特性に応じた形で、地域役員、関係団体、小学校、山科警察署等の協力のもと実施され、参加した。 参加回数：11回		健康長寿推進課
	20	山科区公式アプリ「やまなしプラス」を活用した健康ウォーキングの促進	アプリを活用し、利用者の歩行数の増加と健康意識の向上を高めることで、区民の健康増進を図る。	健康ウォーキング登録者数：2,387人 発行済みやまなしポイント：64,916,846pt (649,168円相当) (令和2年3月31日現在)		地域力推進室
	21	東部障害者地域自立支援協議会活動の充実	支援会議や運営会議等に積極的に参加する。	運営会議等に積極的に参加するとともに、各部会を中心とした研修会等の企画に積極的に取り組み、東部圏域での連携体制づくりを行った。 全体会議：1回 運営会議：12回 支援会議：4回 児童部会：6回 触法部会：14回 GH部会：3回 災害部会：6回 地域懇談会：1回 ※各部会には、研修会、学習会等を含む		障害保健福祉課
	22	こころのふれあいネットワーク事業の実施	夏まつり・シンポジウム等を開催する。	地域における精神障害者への理解を促進するためのイベントやシンポジウム等を実施するとともに、精神障害者に対する正しい知識の普及のため、紙芝居による啓発活動にも積極的に取り組んだ。 山科こころのふれあい夏まつり 参加者数：351人 精神保健福祉講演会 参加者数：89人 啓発のための紙芝居 開催回数：7回 参加者数：延べ227人		障害保健福祉課
	23	福祉医療に係る事務の適正かつ円滑な実施	窓口等での丁寧な説明、適正な資格認定・給付事務に努める。	市民しんぶん山科区版への掲載やチラシ、ポスター等による制度の周知に努めるとともに適正に事務を行った。		健康長寿推進課 障害保健福祉課 子どもはぐくみ室
24	国民健康保険事業等の適正かつ円滑な実施	わかりやすく信頼される丁寧な窓口対応、保険料徴収率の向上、適正な資格賦課及び保険給付を実施する。	窓口又は電話の応対において、専門用語はわかりやすい言葉に置き換えるなど、健康保険の内容や手続きを丁寧に説明した。 社会保険等の加入者に対する資格の適正化や、保険料滞納者に対する滞納処分の強化などに取り組んだ（現年徴収率91.91%）。 高額療養費等の助貸を実施し、申請者に迅速かつ正確に保険給付を行った。		保険年金課	

5 地域のつながりを強める

1	次期基本計画素案の作成	令和2年度中の策定に向けて、素案を作成する。	次期基本計画の策定に向けて、「山科区民まちづくり会議」を3回開催するとともに、「やましなGOGOカフェ」、「明日の山科を考える」会議及び区民アンケート等において区民意見を聴取し、基本計画骨子（案）を策定した。 ※第3回山科区民まちづくり会議は令和2年3月16日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面にて審議した。	地域力推進室
2	世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動	防犯カメラを増設することや、笑顔と花いっぱいプロジェクトでは地域の方々とプランターの世話をさせていただくことにより、犯罪の起こりにくいまちをつくり、人口当たりの刑法犯認知件数を全行政区中最小にすることを旨とする。	防犯カメラ設置に対して、設置費用を9割助成した。 設置台数：139台	地域力推進室 文化市民局
3	山科“きずな”支援事業	支援の充実を図るため、補助金の交付のほか、まちづくり講座、活動報告会を実施する。	区民の主体的なまちづくりを支援するため、地域団体、NPO法人、大学等が自発的・自主的に企画、運営する事業に対し、以下のとおり支援を行った。 申請事業数：35件 補助金交付決定事業数：32件 交付決定額：5,315千円 ※きずな支援事業活動報告会は、令和2年4月11日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。（活動報告会で使用予定だった活動報告パネルは令和2年4月以降山科区内各所に展示）	地域力推進室
4	山科区民まちづくり会議の運営	「山科区民まちづくり会議」の運営等を通じ、区民、地域団体、事業者、大学等と連携・協働し、計画を更に推進する。	第2期山科区基本計画の進捗評価を行うとともに、次期山科区基本計画の策定に向け、山科区の今後のまちづくりについて議論するため、「山科区民まちづくり会議」を開催した。 第1回山科区民まちづくり会議 開催日：令和元年7月31日 第2回山科区民まちづくり会議 開催日：令和元年12月26日 ※第3回山科区民まちづくり会議は令和2年3月16日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面にて審議した。	地域力推進室
5	やましなGOGOカフェの運営	まちづくりに関心のある区民同士が出会い交流を深め、行動のきっかけとなるような場を目指す。	区民が出会い、行動のきっかけとなる場として計3回開催した。 第1回 開催日：令和元年5月18日 参加者数：27人 第2回 開催日：令和元年8月20日 参加者数：17人 第3回 開催日：令和元年9月28日 参加者数：14人 ※第4回やましなGOGOカフェは令和2年2月29日に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	地域力推進室
6	山科区民総合防災訓練の実施	区民が災害発生から安否確認、避難所開設、閉鎖にいたるまでの一連の流れを実際に行動していただく実践的な訓練を実施する。	全学区一斉の山科区民総合防災訓練を実施した。午前9時に地震が発生したとの想定で全学区で一斉に訓練を開始し、緊急速報メールによる避難勧告の伝達訓練、安否確認、避難所立ち上げ・運営訓練を実施した。 実施日：令和元年11月10日	地域力推進室 行財政局
7	地域の防災力アッププロジェクト	平成31年度は、平成30年度に多発した地震、台風等の自然災害を受け、災害発生時の心構えや行動について、それぞれの立場（自主防災会長、地域役員、区民等）で自由に意見交換をしていただき、防災に対する意識向上や情報共有を図るために「（仮）やましな防災カフェ」を開催する。	山科区民総合防災訓練の振り返り会議を開催し、各学区の取組について情報交換を行った。 実施日：令和元年11月29日 平成30年の7月豪雨時に避難場所を開設した際に要望が多かった、「避難所・避難場所開設中」の標識を作製し、各避難所に配分した。	地域力推進室
8	I o Tを用いた土砂災害に強いまちづくりプロジェクト	安朱学区の住民や小学生の皆様が自宅で図った雨量などをコンピュータに蓄積し、将来的には人工知能を活用して土砂災害の危険予測を目指す。	安朱学区の住民や小学生が自ら製作した雨量計により、雨量計測を継続的に実施するとともに、土中の土壌雨量を計測するためのI o Tセンサーを設置し、それぞれのデータを地域住民が確認できるシステムを構築した。 地域住民はLINEを活用した避難を呼びかけるグループを立ち上げ、自分たちが計測した雨量や土壌雨量データにより自主避難を促す体制を構築した。	地域力推進室
9	山科区G空間プラットフォーム事業	位置情報に紐づいたあらゆる情報の収集にあたり、プラットフォーム上に格納する。	地域からの空き家情報について、平成30年度及び令和元年度に調査員による2次調査を実施し、空き家についてのデジタルマップ及びデータベースを整備した。 データ整備件数：約1,200件	地域力推進室
10	山科ならではの地域力・知恵を生かした空き家対策の推進	平成30年度に区内に370あるすべての町内会により、空き家調査を実施。現在、外観調査等の2次調査を実施しており、今後は、所有者判明分から不動産業界団体や弁護士等の協力を得て、売却や賃貸等の活用を促進する。	地域からの空き家情報について、平成30年度及び令和元年度に調査員による2次調査を実施し、空き家についてのデジタルマップ及びデータベースを整備した。そのうちの約半数の空き家について不動産登記簿の取得による所有者調査を実施し、所有者への働きかけに向けた準備を進めた。 データ整備件数：約1,200件（うち所有者調査件数：600件）	地域力推進室 都市計画局
11	ふれあい“やましな”区民まつりの実施	より多くの団体や、多様な年齢層の区民が参加するように内容を充実していく。	開催日：令和元年11月23日 参加者数：約21,500人 出店ブース数：70ブース ステージ出演団体数：16団体	地域力推進室
12	安心安全ネット継続応援事業の実施	学区の安心安全ネット継続応援事業を全13学区で実施する。	13学区で実施した。	地域力推進室 文化市民局
13	獣害対策チームの運営	各学区の獣害対策チームと連携を図り、生活被害に遭われた方への獣害防除用品の貸出し継続、追い払い物品の提供、獣害防除勉強会を開催する。	猪用の柵を貸し出した。 新規貸出件数：2件 継続貸出件数：延べ44件	地域力推進室 文化市民局 産業観光局
14	個人情報の保護を基本とした円滑な行政サービスの提供	個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努める。また、課内会議、研修等により更なるサービス向上を図る。	コンプライアンス推進月間及び情報セキュリティ対策強化月間における検討会議や課内会議の場で個人情報保護についての意識向上と市民対応研修による市民サービス向上の徹底を図った。	市民窓口課
15	区民サービスの向上	“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の充実等により、職員の資質向上を図る。	各所属において“きょうかん”ミーティングを実施した。また、各種研修の充実等により、職員の資質向上を図った。	全課共通
16	笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施【再掲】	【再掲】	国道1号線（五条通）、新十条通の歩道及び学区内施設にプランターを設置した。 春夏：500個 秋冬：1,000個	地域力推進室